

パワーを結集

いろいろな方法があるんですけど、やっぱりどうしても収入を考えると質より量を出していくことになりそうですから、実現が難しいですね。

司会 たえばあぶくま野菜なんていうブランドができると、そこで価値があるとかそういうことはあるんですか？

吉田(政) 今は小野町の農業では「インゲン」を出荷していますが、一定の質・量さえまれば、金額はあがっていくでしょうね。きゅうりも10年ぐらい作っています、個人でやっていけば個人で終わっ

工業のさらなる発展を目指して

高橋 社会情勢の中で、需要が冷えてきていることはご存知でしょうが、これからは公共事業もほとんど少なくなっていく中で、今までと同じ形で企業の存続は難しい情勢です。

最近では企業の評価が数字でされている中で、地方の業者は数字を上げられないということで、受注につなげていかないのが現状です。私たちの企業努力も当然必要ですが、発注者側の町のご理解も必要ではないでしょうか？

あと「石材業」も小野町の中で

てしまうんですね。農業の場合は今やっているもの以外で食べていくのはなかなかむずかしいです。

福田 酪農も設備投資がかかり、農作業機械などに頼ってやらないとできません。中でも、一番問題にされているのは堆肥の問題で、これも5年以内にはなんとか施設を作ってきちんとした堆肥にして、使うなり、販売するなどの話も出ているんですが、個人では難しいかなとなつてしまっています。

農業全般の形で堆肥がリサイクルできて、小野町の農産物がブランド化できたらいいのと思います。

高いウエイトを占めていましたが、4〜5年前から外材が入ってきて、石材組合10何社ぐらいは実質廃業という現状です。これからは前と同じような仕事をするのはむずかしいとは思いますが、技術的ノウハウはなんとか残していきたいと思つています。

それと建築の方でいいますと、公共的な施設はそろそろできたということ、今は民間がほとんどという形になっていますが、個人住宅も低迷しているのが現状です。

司会 小野町の石は浮金石など

たいへん石が採れたのですが。高橋 浮金の黒石は日本、いや世界かと思つています。あと白御影石として産出はしていたのですが、今はなかなかいいものがなくなつていきます。

吉田(代) これからは他人と同じではリストラにあつてしまう。ですから企業も個人も自分の独自性というか、カラーを出すべきかと思つています。そうでないとこれからは生き残れないような気がします。

司会 小野町は企業努力とか、生き残りの展開を図っていく上で、こういう風土があればいいのかなとか、そういう点はいかがですか？

商店街に活気を取り戻せ

佐藤 先程、小野町の商店街が静かで活気がないという話をしましたけれど、町長が先程お話ししたとおり定住人口がないと売上が伸びないというか、業種によっては交流人口でもやつていけるところはあるんですが、合併当時は一万人減つて、今では二万三千人に減つて、これが一番大きな問題かと思つています。後継者問題がいろいろさわがれていますが、

家業を継いでもらえなくなつたということもあります。道路も整備され便利になったのですが、買い物客もいっしょに郡山、いわきに行つてしまうようになりました。若い人たちがいなくなつていく中で、いかに高齢者の人たちと上

吉田(代) そういう商店が小野町になかったのが現実ですから、仕入先もほとんど郡山、いわきなんです。でも同じお金を落とすなら、地元という気持ちは持っているんです。

司会 町長、小野町の工業基盤という点はいかがですか？

町長 基盤はあるんです。地の利からいっても、小野町の昼夜人口は98%なんです。それだけ誘致企業が多く、職場提供条件もいんです。これからは定住人口に併せて交流人口を増やすことをすすめていき、しっかりした産業基盤の形成を図つていきたいと考えています。

手に付き合っていくか？人にやさしい商店街づくりも目指していかねばならないと思つています。バリアフリーに留意したつくりを考えると、行政の方にお願ひしているかなと思つています。

先崎 全く同感です。商業環境が年々厳しくなつていますが、それを分析しますと後継者の問題、マーケティングの問題、流通チャネルの問題ですね。なかなかいまの消費者に対応できる技術がない、衰退していつてのが現状です。やはり、支持されるお店でないと商売にならないのですが、「支持されるお店づくり」がむずかしい。念頭に

あつても、残念ながら大型店にお客をもつていかれているのが現状

です。問題はあと1つ、高齢化現象というの大きいのではないのでしょうか？まちづくりにあった商店街の形成というのが課題だと思つています。

町長 その点では、「お年寄りや地域住民にやさしい商店街づくり」を信念をもつて行うことが大切ではないかと私は思つています。

司会 大型店を言う前に、土日は休んでいた、商業者自身の努力や姿勢という点ははどうですか？

先崎 現状はお店のオーナーの信念で、日曜日は開けないところもあります。お店によっては、日曜日はお客さんが来ないから閉めておく。お客もお店が閉まっているから買い物に来ない。悪循環なんですね。

先崎 私の近くに「リカちゃんキヤッスル」がありますが、確かにお客さんは集まるけど、それだけで終わつてしまっているんですね。お客様はあそこだけで目的は果たしたという感じで、近くの商店街で買い物はしてくれない。そこでどう帰つちゃうんですね。

佐藤 それは誰かが、「リカちゃんキヤッスル」と「商店街」を結び付けて人・物・お金などが循環するように作らないとしようがないと思つています。だから「リカちゃんキヤッスル」に来た人に、地元で最低3千円くらいは使ってもらえるようなくみ、仕掛けづくりをやつていかないと意味はないですね。